

前回までの議論と今後について

(1) 病院看護師の訪問看護事業所への出向のしくみ

人材
確保

連携
促進

理解
促進

(2) 病院看護師の訪問看護事業所への短期間の実地研修

連携
促進

理解
促進

出向のしくみについての主な意見

病院看護師のメリット

- 在宅医療や訪問看護の理解が深まり、在宅で療養可能な患者像への認識が広がる
- 地域での生活を見越した看護ができ、看護の質の向上と、退院支援の充実に繋がる

訪問看護事業所のメリット

- 病院看護師の出向を受入れることで、訪問看護事業所の人員が増える
- 病院と顔の見える関係ができることで、退院支援の円滑化など連携強化がすすむ
- 病院からの依頼が増えることで、利用者が増え、経営の安定につながる
- 急性期の看護技術が学べることで、訪問看護師のスキルが向上する

実施にあたっての課題

- 労働条件の調整が難しい(給与差額、福利厚生等)
- 病院の看護体制を維持しながら人材を出すことが厳しい
出向の効果を表すものとして、連携が進んだという具体例を例示してはどうか
- 出向する訪問看護事業所の選定をどうするか
- 訪問看護事業所における出向者に対する教育体制の確保が可能か
- 訪問看護事業所の人材確保についてのニーズを一元的に把握するところがない
- 人材不足で困っている小規模事業所のための恒常的な人材確保になり得るか

実地研修についての主な意見

- 出向はすぐには難しいが、短期間の実地研修なら病院の看護師を受講させたい
- 実地研修に年に複数人受講させるだけでも、病院としてのメリットは十分にでてくる
- 訪問看護ステーション協会の現場実習は2日間のみなので、もう少し長く実習したい
- 研修受け入れ先の訪問看護事業所に対する補助や負担軽減策があった方がいいのではないか、研修受け入れ先のキャパはあるか
- 訪問看護師にとっても、病院看護師から学ぶ機会になるし、病院との連携促進につながる

出向及び実地研修の今後について(案)

出向におけるメリットは大きいですが、実際の実施については出向させる病院側の理解や体制上の調整の難しさ、また受入れる事業所側の意向やニーズの把握等も必要
訪問看護事業所全体の人材確保策としての位置づけは難しいか
短期間の実地研修からの方が取り組みやすいか

- 病院での検討を後押しするため、また事業所にも効果や必要性を理解してもらうために、実際の出向や実地研修の効果や工夫点などについて、市内病院や訪問看護事業所などに広く報告する機会を設定してはどうか。
- 実地研修からなら行えそうだとこのところのために、新たに始める際の負担軽減と、研修の質の担保等のために、ベーシックな実地研修プログラムを示してはどうか。

訪問看護ステーション協会等が中心に実施している研修会等について

主な意見

- 企画・運営を少人数でしており、負担が大きい
- 病院看護師も企画から参画し、持ち回りで案件を考えるなどしてはどうか
- 研修会でなくても、病院看護師と訪問看護師がざくばらんにディスカッションするような機会をもってはどうか
- 病院の研修会の一つに組み込むと、病院看護師も興味を持つ

今後について(案)

- 訪問看護事業所側の企画・運営の負担軽減と病院看護師の参加促進、また研修会の充実のために、病院看護師も企画から参画したり、研修だけでなくディスカッションや情報交換の機会を持つ方向で検討してはどうか

コアメンバー: スターネットの会の担当者と市内5病院の看護管理者

検討内容: 在宅療養や訪問看護等の理解促進と看看連携や多職種連携促進のための研修会等(ディスカッションや情報交換等も含む)の企画や、参加者増加のための工夫等について

回数: 年数回程度